

グローバルPBL：建築生産系国際ワークショップ
マレーシアワークショップ（オンライン）

実施期間：2021年10月9日（土）～16日（土）

事前準備期間：10月2日（土）～8日（金）

建築学部建築学科：志手一哉、蟹澤宏剛

ワークショップの概要

- マレーシア／トUNK・アブラドゥル・ラーマン大学（University Tunk Abdul Rahman : UTAR）エンジニアリング&グリーンテクノロジー学部コンストラクションマネジメント学科の学生と共に取り組む10日間のオンラインワークショップ。
- テーマは、プレファブリケーション工法やユニット工法による構法のデザイン。BIMを用いた共同作業により、オンライン時代におけるコラボレーションの方法を模索する。
- ワークショップの要所で教員や実務者等による特別講義などを交え、生産系ならではの特徴を織り込んだプログラムとする。
- 両国の建築生産の知識と技術を相互に交換し合うと共に、当学学生の英語コミュニケーション能力を高めることが狙い。

トウungk・アブラドゥル・ラーマン大学 (UTAR)

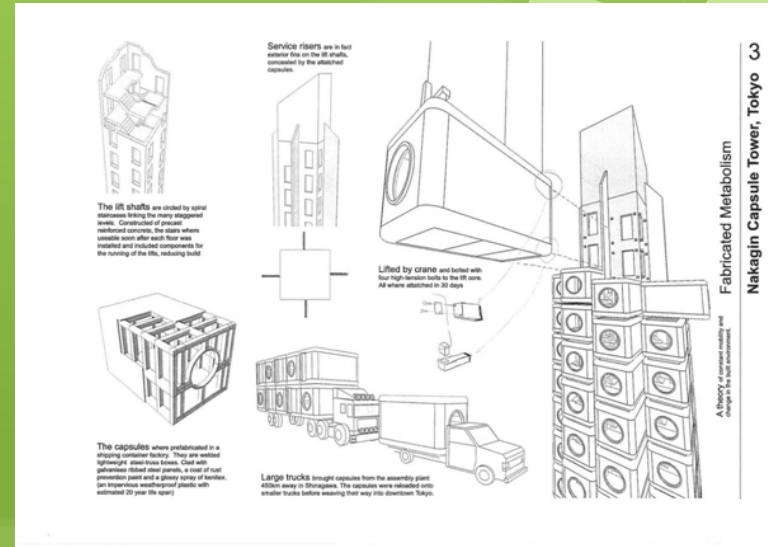
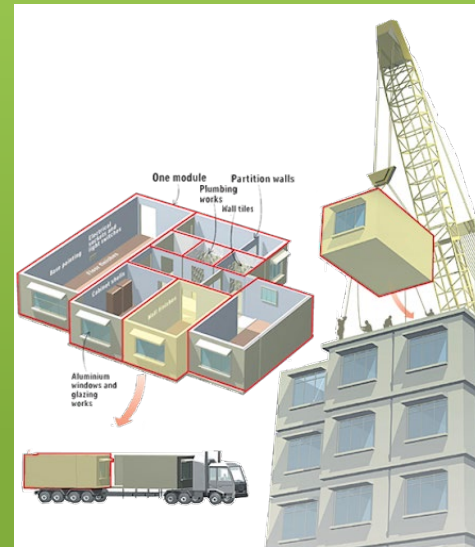
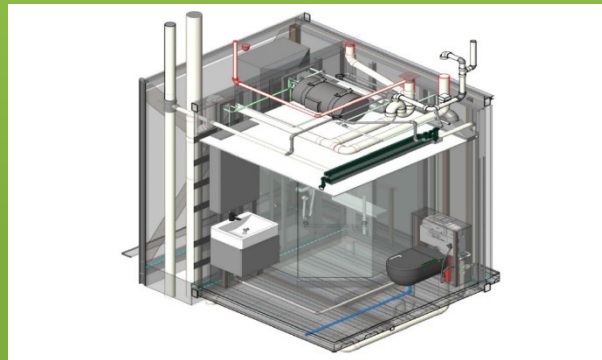
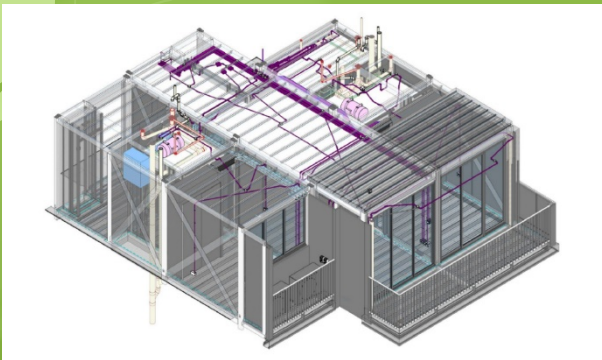
- マレーシア・UTAR教育財団によって設立された大学です。
- キャンパスはクアラルンプール近郊とクアラルンプールから約200キロ離れたペラ州、カンパーにあり、エンジニアリング&グリーンテクノロジー学部コンストラクションマネジメント学科はカンパーキャンパスにあります。
- マレーシアは多民族国家で、様々な人種が共存しています。公用語はマレー語ですが、ビジネスシーンでは一般的に英語が使用されています。また、ラーマン大学は中国系の学生が多く在籍しています。



ワークショップのメインテーマ

- プレファブリケーション工法やユニット工法による構法のデザイン
 - アジアで広がりつつあるユニット工法の可能性を追求する
 - Autodesk REVITを用い、ユニットを組み合わせた高層ビルをデザインする
 - 定められたレギュレーションの範囲で、居住空間、共用空間、サービス空間のベストミックスを考える

ユニットはサイズを可変できるファミリーを使用
SITとUTARの混成チームで建物を計画



ユニット工法で建設された建物の例

Singapore; Crowne Plaza Hotel Extension (2014)

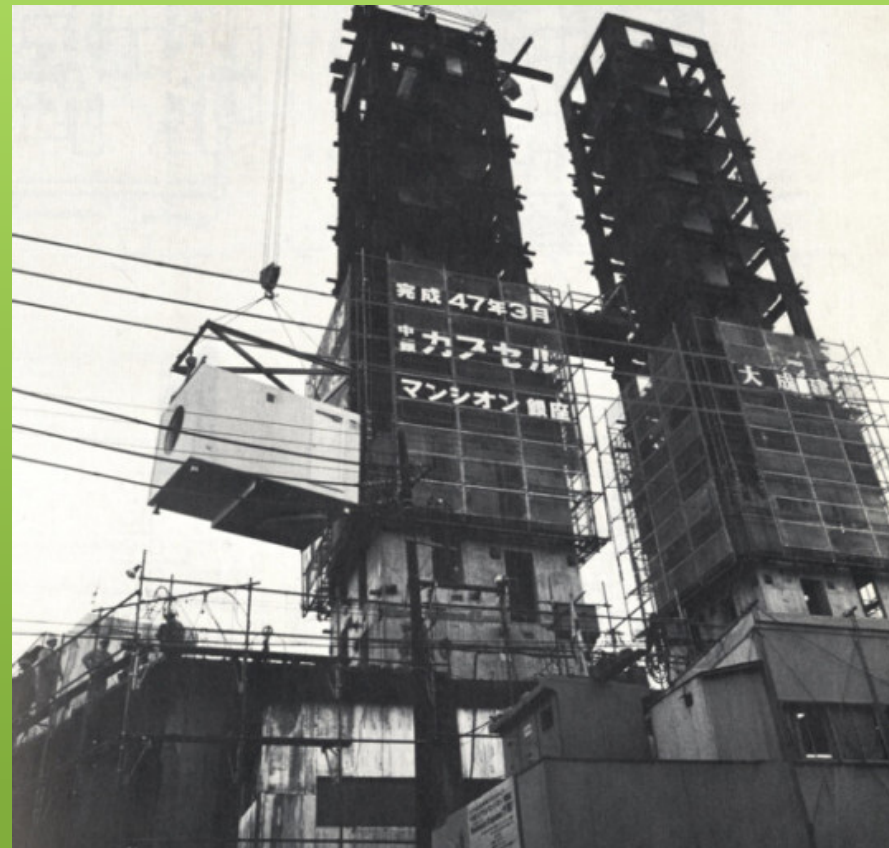


Canada; Habitat 67 (1967)



ユニット工法で建設された建物の例

Japan; 中銀カプセルタワービル (1972)



スケジュール

日にち		内容
10月2日（土）～8日（金）	事前準備	事前準備（日本、日本の建築の紹介資料作成） 詳細な日程は後日に連絡
10月9日（土）	初日	オリエンテーション（両国の紹介、自己紹介、 チーム分け、その他）
10月11日（月）～12日（火）	2～3日目	WS前半（計画・モデリング）
10月13日（水）	4日目	特別講義（BIM、建設労働環境など）
10月14日（木）～15日（金）	5～6日目	WS後半（モデリング、プレゼン資料作成）
10月16日（土）	7日目	成果発表、表彰

WSはオンラインとオフラインを適宜切り替えて実施
参加場所は学内（志手研究室）、自宅のどちらでもOK

申込要領

- 参加条件

- ① 10/2～10/16の日程にすべて参加できること

- ② REVITの操作ができること（BIM演習1を履修中でもOK）

- 9月25日（土）までに志手までメールで連絡（shide@shibaura-it.ac.jp）

- 募集人数：10名程度